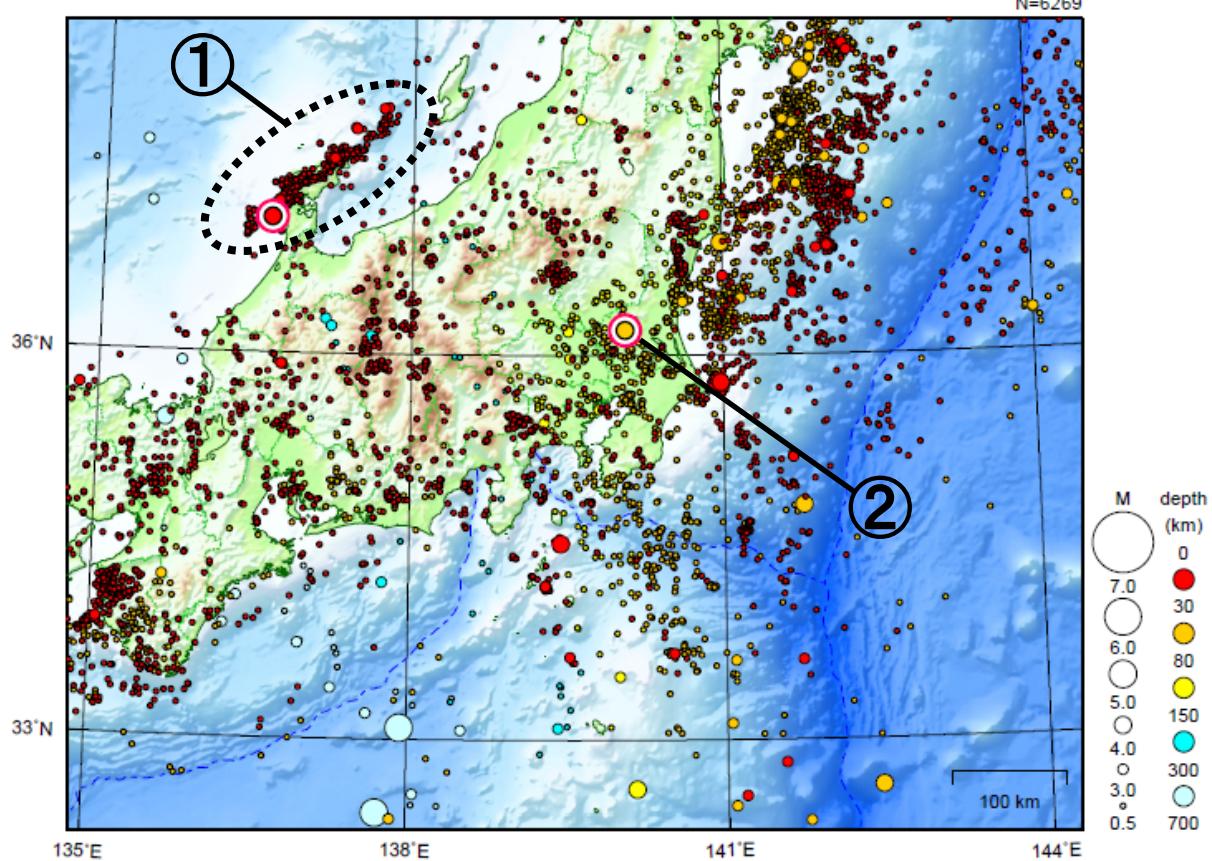


関東・中部地方

2025/12/01 00:00 ~ 2025/12/31 24:00

N=6269



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 12月14日に石川県西方沖でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。「令和6年能登半島地震」の地震活動域では、12月中に震度1以上を観測した地震が13回（震度4：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：8回）発生した。
情報発表に用いた震央地名は〔能登半島沖〕である。
- ② 12月12日に茨城県南部でM4.9の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

「令和6年能登半島地震」の地震活動

震央分布図

(2020年12月1日～2025年12月31日、
深さ0～30km、M≥3.0)

震源のプロット

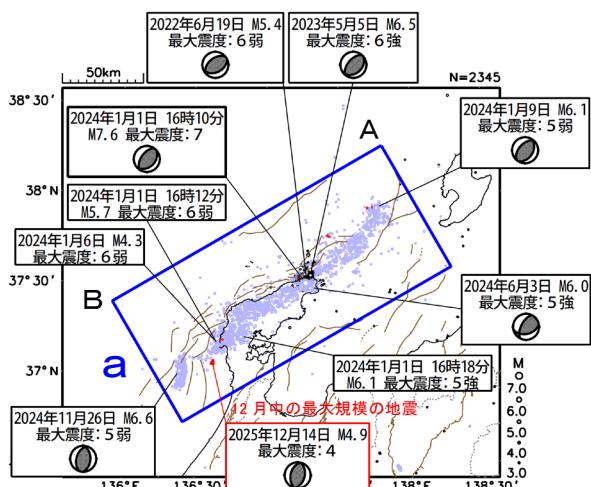
黒色 2020年12月1日～2023年12月31日

水色 2024年1月1日～2025年11月30日

赤色 2025年12月1日～31日

吹き出しへ最大震度6弱以上の地震、M6.0以上の地震
及び12月中の最大規模の地震

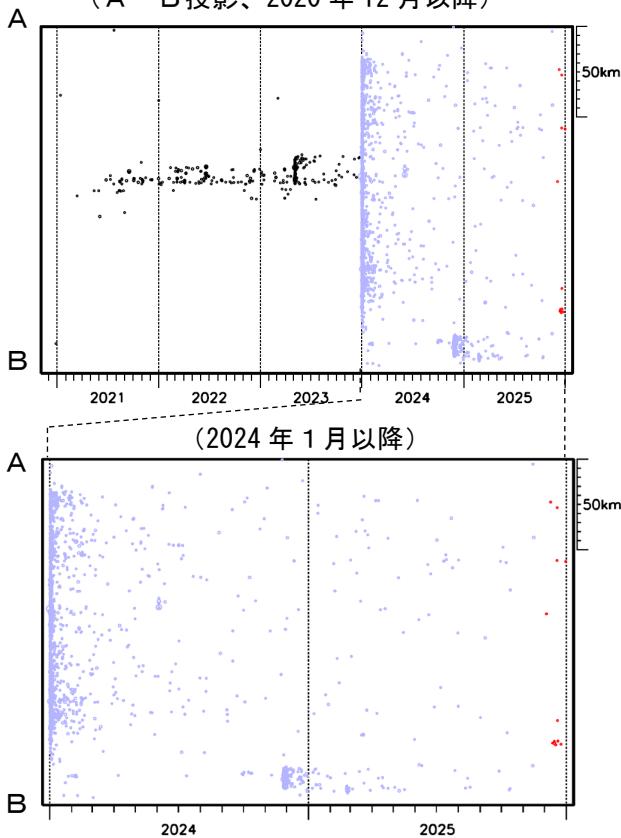
図中の発震機構はCMT解



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の
長期評価による活断層を示す。

領域a内の時空間分布図

(A-B投影、2020年12月以降)



能登半島では2020年12月から地震活動が活発になり、2023年5月5日にはM6.5の地震（最大震度6強）が発生していた。2023年12月までの活動域は、能登半島北東部の概ね30km四方の範囲であった。

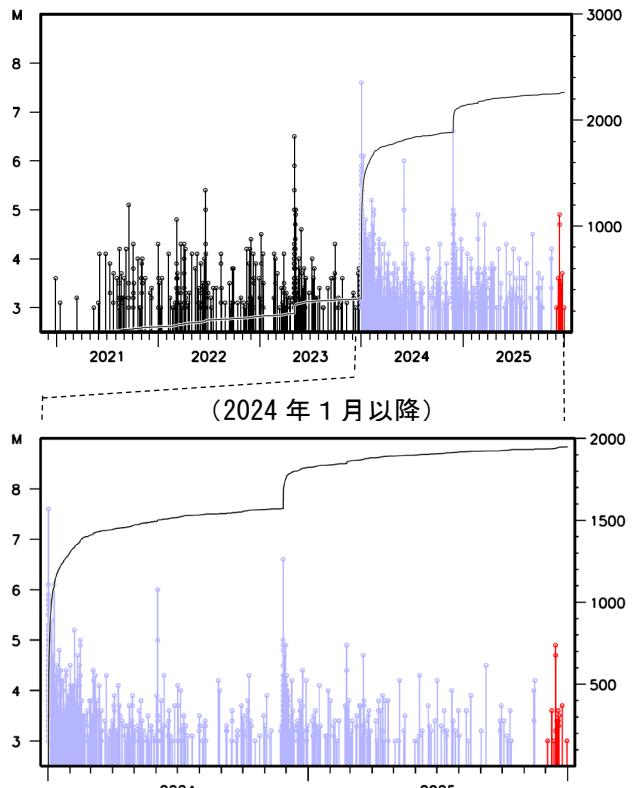
2024年1月1日16時10分に石川県能登地方の深さ16kmでM7.6の地震（最大震度7）が発生した後、地震活動はさらに活発になり、活動域は、能登半島及びその北東側の海域を中心とする北東～南西に延びる150km程度の範囲に広がっている。M7.6の地震後の地震活動域の西端の石川県西方沖で、2024年11月26日にM6.6の地震（最大震度5弱）が発生した。

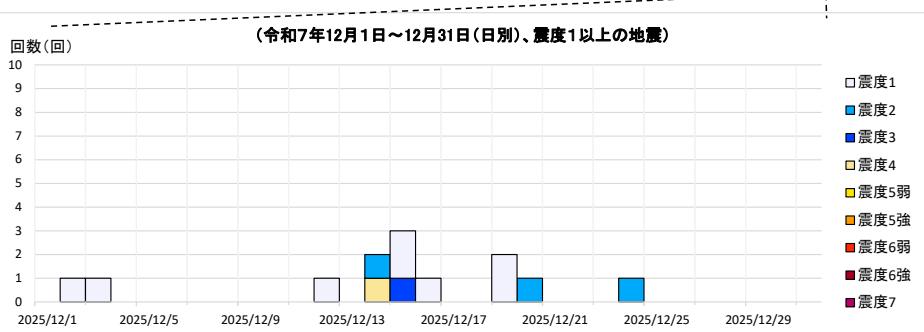
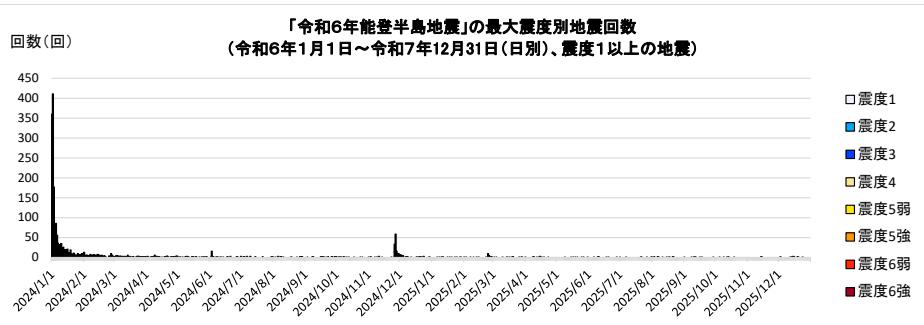
地震の発生数は増減を繰り返しながら大局的に緩やかに減少してきているが、12月中に震度1以上を観測した地震は13回発生するなど、活動は継続している。なお、12月中の最大規模の地震は、14日23時26分に石川県西方沖^(注)の深さ8kmで発生したM4.9の地震（最大震度4）である。この地震の発震機構（CMT解）は西北西～東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

(注) 情報発表の震央地名は「能登半島沖」である。

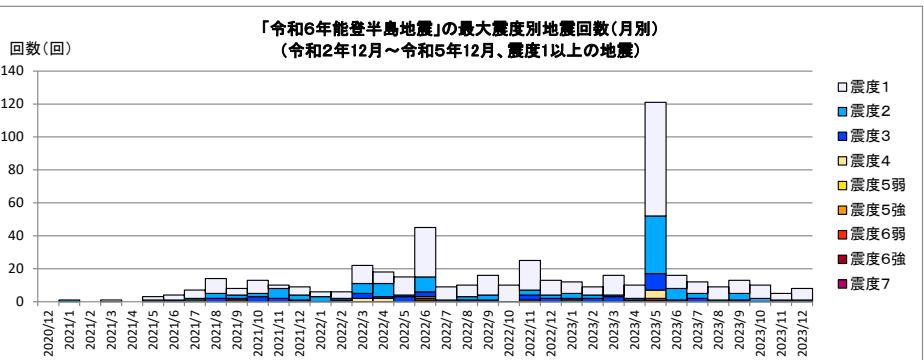
領域a内のM-T図及び回数積算図

(2020年12月以降)





【令和2(2020)年12月～令和5(2023)年12月の発生回数(月別)】



【令和2(2020)年12月以降の発生回数(年別)】

年別	最大震度別回数								震度1以上を観測した回数	備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強		
2020/12/1 - 12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2021/1/1 - 12/31	39	19	10	1	1	0	0	0	70	70
2022/1/1 - 12/31	130	39	18	6	0	1	1	0	195	265
2023/1/1 - 12/31	151	61	21	6	0	1	0	1	241	506
総計(2020～2023)	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506

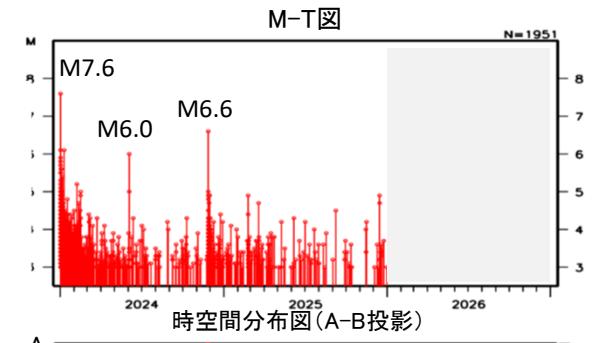
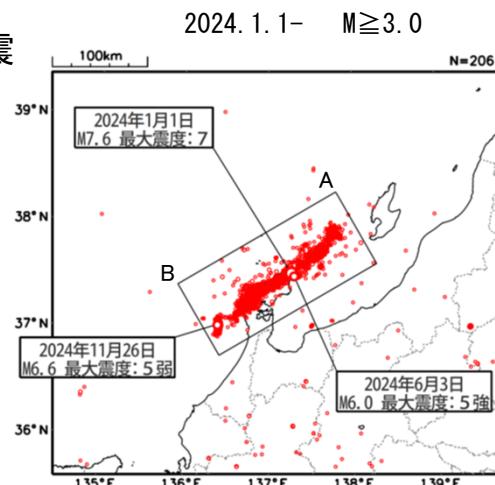
2020～2023	320	119	49	13	1	2	1	1	0	506	506
2024/1/1 - 31	941	395	159	45	7	8	2	0	1	1558	2064
2024/2/1 - 29	95	34	12	3	0	0	0	0	0	144	2208
2024/3/1 - 31	49	17	4	0	0	0	0	0	0	70	2278
2024/4/1 - 30	32	9	4	0	0	0	0	0	0	45	2323
2024/5/1 - 31	20	6	2	0	0	0	0	0	0	28	2351
2024/6/1 - 30	27	5	1	1	0	1	0	0	0	35	2386
2024/7/1-31	16	3	1	0	0	0	0	0	0	20	2406
2024/8/1-31	13	4	1	0	0	0	0	0	0	18	2424
2024/9/1-30	14	4	0	0	0	0	0	0	0	18	2442
2024/10/1-31	8	6	0	0	0	0	0	0	0	14	2456
2024/11/1-30	88	41	5	1	1	0	0	0	0	136	2592
2024/12/1-31	24	12	1	0	0	0	0	0	0	37	2629
2025/1/1-31	8	2	2	0	0	0	0	0	0	12	2641
2025/2/1-28	18	5	2	0	0	0	0	0	0	25	2666
2025/3/1-31	7	3	1	1	0	0	0	0	0	12	2678
2025/4/1-30	10	2	0	0	0	0	0	0	0	12	2690
2025/5/1-31	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2698
2025/6/1-30	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	2705
2025/7/1-31	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2711
2025/8/1-31	12	1	0	0	0	0	0	0	0	13	2724
2025/9/1-30	6	1	1	0	0	0	0	0	0	8	2732
2025/10/1-31	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6	2738
2025/11/1-30	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	2741
2025/12/1-31	8	3	1	1	0	0	0	0	0	13	2754
総計(2020/12/1～2025/12/31)	1741	676	247	65	9	11	3	1	1	2754	

*2024/1/1以降は地震活動の領域が広がったことから、対象領域を拡大して地震回数をカウントしている。

陸のプレート内で発生した過去の大地震との活動比較(36か月間)

令和6年能登半島地震

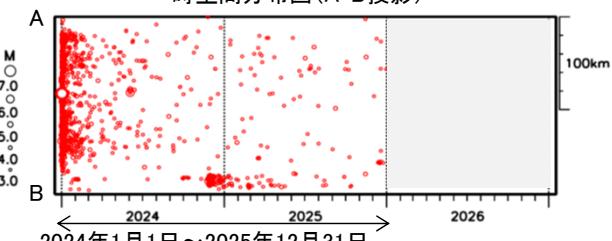
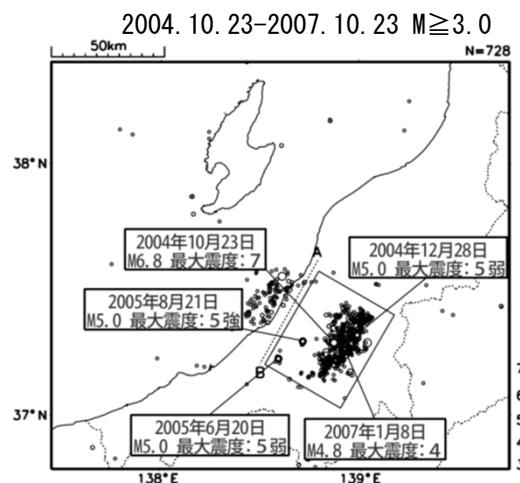
(M7.6, 最大震度7)



平成16年(2004年)

新潟県中越地震

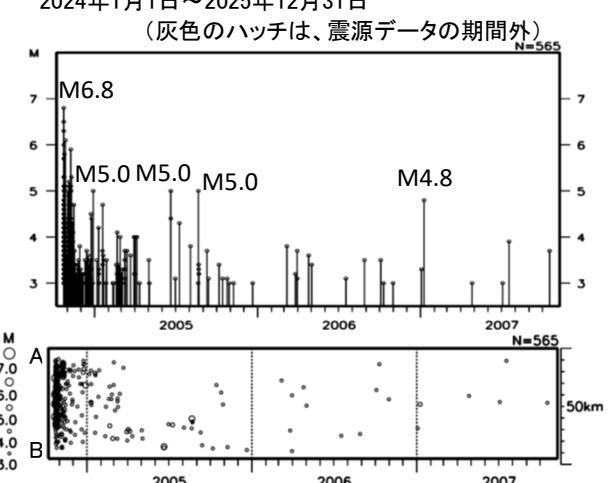
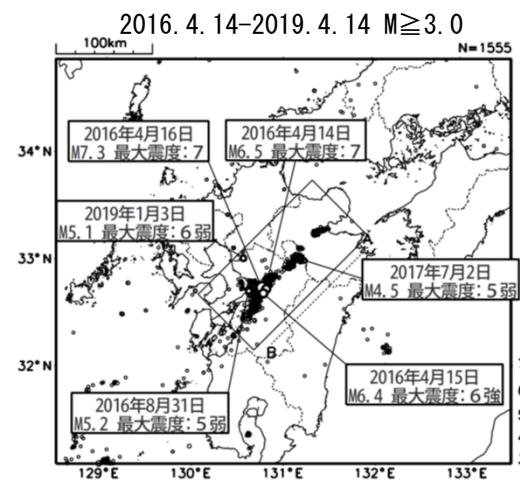
(M6.8, 最大震度7)



平成28年(2016年)

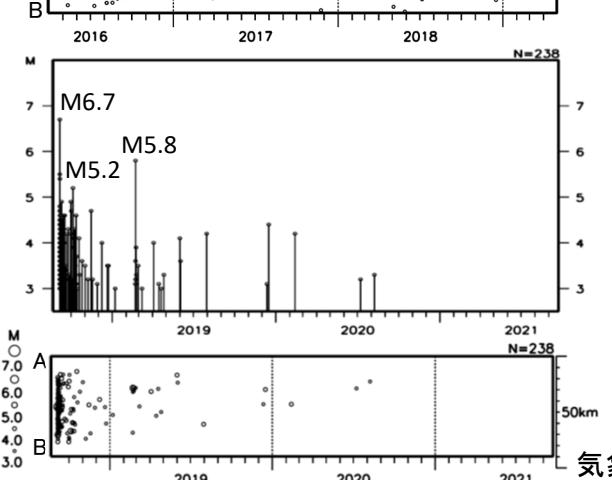
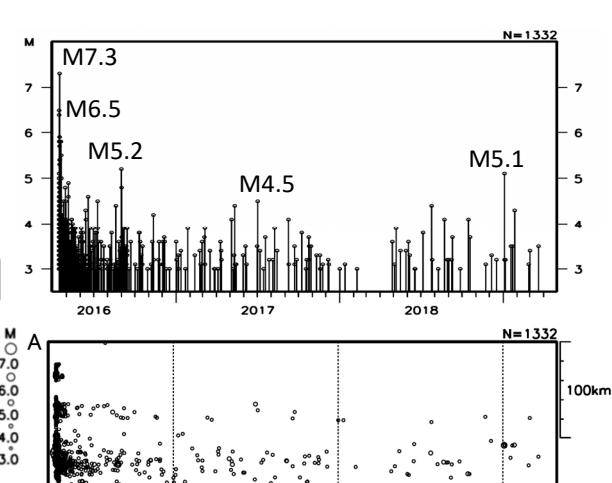
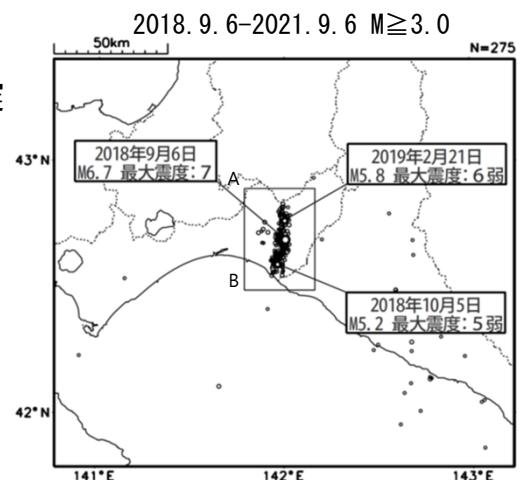
熊本地震

(M6.5, 最大震度7,
M7.3, 最大震度7)

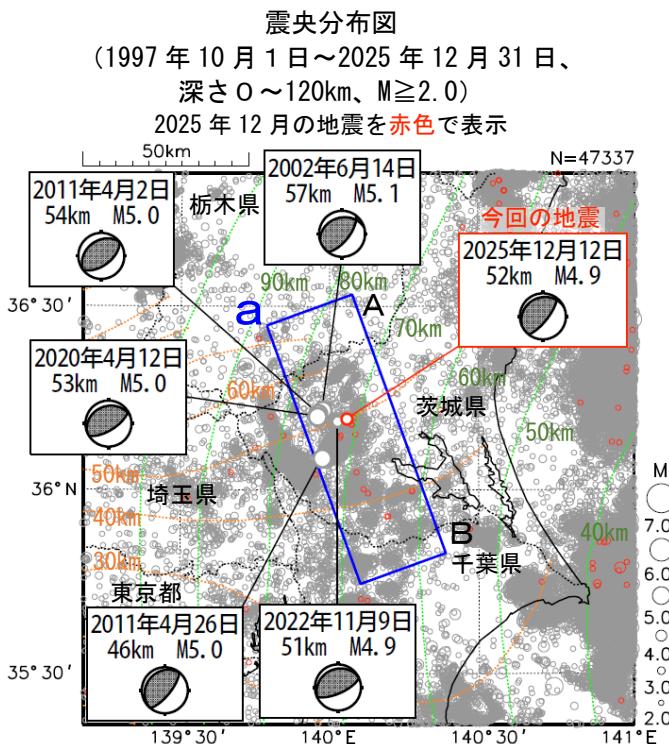


平成30年
北海道胆振東部地震

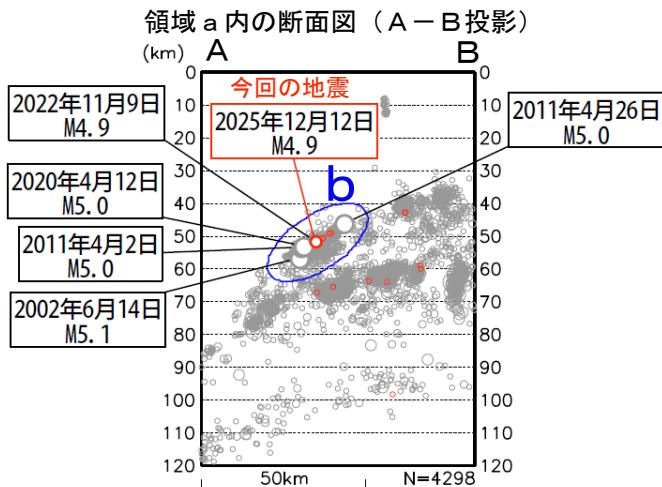
(M6.7, 最大震度7)



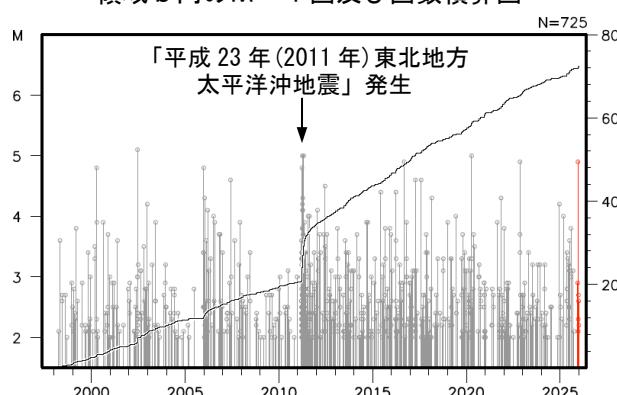
12月12日 茨城県南部の地震



震央分布図中の緑色及び橙色の破線は、それぞれ、弘瀬・他(2008)による太平洋プレート上面及びフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。



領域b内のM-T図及び回数積算図

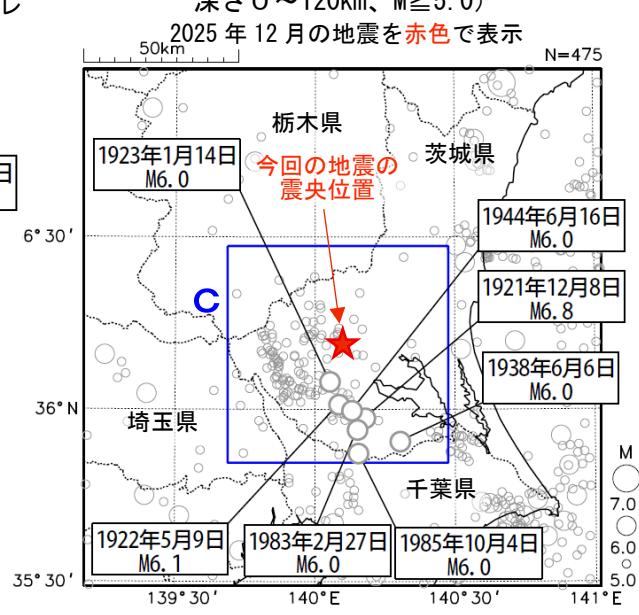


2025年12月12日19時05分に茨城県南部の深さ52kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

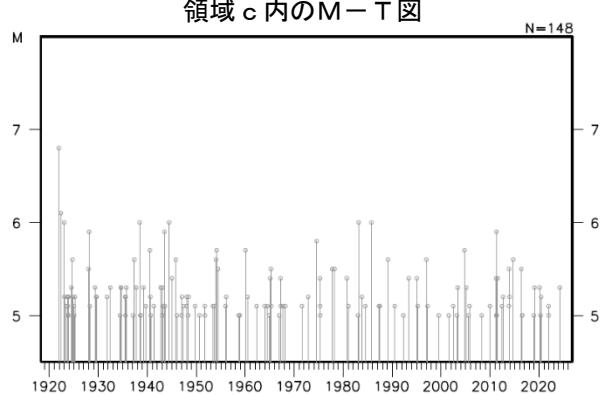
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)は、地震活動が活発な領域であり、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生以降、地震活動がより活発になっている。この領域では、2022年11月9日にはM4.9の地震(最大震度5強)が発生し、負傷者1人の被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がまれに発生している。1921年12月8日にはM6.8の地震が発生し、土蔵破損や道路の亀裂などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1919年1月1日～2025年12月31日、
深さ0～120km、M≥5.0)



領域c内のM-T図



気象庁作成